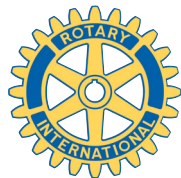


2006-2007
国際ロータリー第2510地区

ガバナー月信

No.2
2006
08



**GOVERNOR'S
MONTHLY
LETTER**
2006-2007
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2510



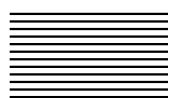
2006-2007年度 ガバナー 丸山 淳士 JYUNJI MARUYAMA

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail: rid2510@nifty.com

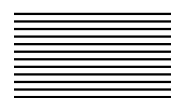
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



2006 - 07年度 国際ロータリーのテーマ



率先しよう



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
会員増強月間に因んで	2
2005-06年度国際ロータリー年次大会参加報告	3
2006-07年度地区委員会活動計画書	4
クラブ活動紹介	9
ガバナー公式訪問	10
地区大会のご案内	11
ガバナー事務所からお願い	12
新入会員のご紹介・文庫通信	13
地区カレンダー (8月・9月)	14



国際ロータリー第2510地区ガバナー

丸山 淳士
(札幌真駒内 RC)

ガバナーメッセージ

今年度 RI 会長、ウィリアム・ボイド氏はニュージーランド出身であり、彼と同じ出身地で1959-1960年度 RI 会長ハロルド・T・トーマスの著書「ロータリー・モザイク」について、国際大会テーマ講演最初に述べた。この著書の日本語訳を担当している方が松本兼二郎氏で、1967-1969年度の RI 理事、東京 RC 会員である。

序文に1974年7月、国際ロータリー元事務総長ジョージ・R・ミーンズ氏は、「成就された成果は一人一人のロータリアンが、それぞれ種々雑多な寄与貢献を捧げた結果として出来上がっているのであるから、これを”ロータリーのモザイク”と呼ぶことは誠に当を得たものであろう」と述べている。

本文の中で、トーマスは会員の多様性について強調し、多様性の重要性は最初のロータリークラブの礎石であり、その重要性はロータリーの拡大につれ増大した。構成人員の多様性、考え方の多様性、活動の多様性、しかし、それらはいずれも皆共通の目的に統一された中での多様性である、と述べている。

ウィリアム・ボイド RI 会長はどんな小さな組織でも、それを運営するには機構が必要であり、ロータリーも1世紀にわたり、確たる機構を確立してきた。しかしながら、これらは目的を達成するための手段に過ぎず、あくまでも、「より良きロータリー、より良きロータリアン」がその目的であることを肝に銘じておかなければならない。と述べました。

ともすれば、「手段」が「目的」であるかのように誤解され、手続要覧が聖書のごとく絶対視されることがあるが、手続要覧をはじめ RI が提供する推奨事項はあくまでも一手段の提示であり、目的を見失ってはならないと言うことであります。

より良きロータリー、より良きロータリアンを目指し、あなたから「率先しよう」が、今年度のテーマであります。

仲間が増えなければ奉仕の輪はしぼんでしまいます。友人の輪を広げるためにはどうしても出会いの場を多くする必要があります。週に1回の例会の場は最低限度のあなたの責務です。例会での「笑顔」はあなたの最低限度の奉仕であります。

会費や財団寄付、米山奨学会の寄付、ニコニコBOXなどの支出もより大きな奉仕の輪の大切な資源となりますが、基本である友人の輪を直接には広げることができません。

まずは、元手のかからない「笑顔」と「握手」で友人の輪をひろげ、その後で、あなたの貴重な財産を少しだけご奉仕願います。

例会に出席するとほっとする。少年の心に戻ることができる。社会的な地位も例会では関係がない。例会は砂漠の中のオアシスである。嘘のない世界がある。それぞれの職業でそれぞれの悩みがあることがわかる。自分は一人ではないことが実感できる。

こんな素晴らしい例会に出席できる権利を持っているのです。

会費に見合った提供がない、会長のリーダーシップがない、奉仕の機会がないなどと愚痴を言う前に「あなたが、率先しよう」ではありませんか。

例会の「笑顔」と「握手」は必ず、友人を確実に増やします。ロータリーの友人は世界中で一番安心な心の許せる友人です。



地区会員増強委員長

塚原 房樹
(札幌東 RC.PG)

会員増強月間に因んで

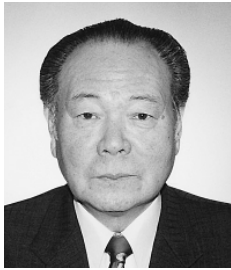
地区増強委員と会員増強委員長さんへ

今年度ウィリアム・ボイド RI 会長は、昨年と同じく各クラブ純増 1 名を要請されています。今世界中のロータリークラブは増強に失敗しています。何とか拡大により辻褃を合わせています。その拡大も発展途上国が主役で安定しません。

昨年の公式訪問の際、会長・幹事懇談会の話題の中心はやはり会員増強のことでした。会員の減少がクラブ活動に暗い影を落としています。我々はもはや腕を拱いてこの問題を議論している暇は無いのです。クラブの存亡がかかっています。増強は RI 会長のためではなく、自分たちのクラブのためです。会員の減少の原因はいろいろありますが、ロータリーが魅力を失ったことが最大の要因でしょう。ロータリー運動の目的は地域社会の職業人に社会の常設の制度として「自己修練」の場を提供することにほかなりません。奉仕はあくまで「自己修練」のための手段でした。そのロータリーが単に奉仕に明け暮れ、哲学を失い自ら NPO を名乗るようになりその結果本来の魅力を失ってしまいました。またバブル崩壊後の経済情勢も直接影響しています。過疎化の問題も深刻です。人々の価値観も多様化しました。このように増強というと、最初から否定的な要因ばかりを挙げてしまい弱気になってしまいます。しかし昨年、当地区で増強に成功したクラブは、皆共通して会員増強をクラブの最大の重点課題として位置づけ前向きに積極的に取り組んでいました。クラブの全員のベクトルが会員増強に集中していました。逆風のなか、自ら酔わなくて人を説得できるかという気迫さえ感じられました。公式訪問の際、自分たちのテリトリーには会員候補者は居りませんといわれたクラブが知恵を集め、クラブの総力を挙げて見事に純増を果たされたのを知り感激しました。会員増強と退会防止についての実施マニュアルの情報は、もう皆さん十分にお持ちです。いまさらここで取り上げませんが、問題は会員減少に危機感を持つことです。どうかクラブの会員全員の意識を喚起してください。5年後、3年後のクラブの会員数を設定して会員増強推進特別強化プログラムを策定してください。

良いクラブを作るために会員増強は、十分条件とは申し上げません。しかし絶対必要条件です。増強に成功することはクラブの活性化に成功することです。

幸い当地区ではガバナー補佐の方々が地区の会員増強委員です。これは全国34地区の中で当地区だけです。ガバナー補佐の方々は各クラブ純増 1 名達成のために会長・幹事会、また年4回のクラブ訪問の際に、会員増強の進捗状況を常に把握してクラブ会長や増強委員会を激励してください。

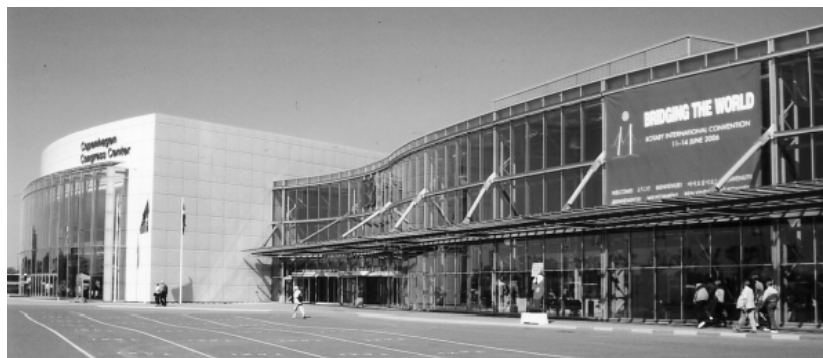


2005-06年度
オン・ツー・コペンハーゲン
委員会委員長

佐藤 秀雄
(千歳 RC . PG)

2005-06年度 国際ロータリー年次大会参加報告

国際ロータリーの年次大会は、122万の会員の代表である会長が選出された国で、毎年6月に開催されています。今年度はスウェーデン国から出ていますのでマルメ市とデンマーク国のコペンハーゲン市の2会場で行われました。北欧で開催されるのは、初めてであり世界の国々から約1万4千名の会員が参加し、日本からも約1800名の会員が参加しました(公式発表ではありません)。大会の内容は「ロータリーの友」に譲るとして、白夜の北欧の旅について報告します。



私たち43名の一行は6月10日成田を立ち、同日の夕方16時30分コペンハーゲンに到着。太陽がさんさんと降り注いでいました。翌日、コペンハーゲン市の人魚姫の広場や、市庁舎、宮殿等を見学し大会に参加、翌日は飛行機でスウェーデン国ストックホルム市へ。ここでは毎年開催されるノーベル賞授賞式、市庁舎として使用されている宮殿で晩餐会。柴田、田中両名が受賞された晩餐会のメニューと同じものを8939番目の客人として味わいました。



1泊後、ストックホルム午後5時、豪華客船シリヤラインに乗船しバルト海を北上、ヘルシンキに向けて出発。今年の北欧は暑い、日中は30度近くにもなる。客室で一休みの後、甲板に上がる。船上は爽やかな風に吹かれて読書を楽しむ者、ビールを片手に仲間と談笑する者と賑やかだ。2万余の島々の間を大きな図体をした客船は窮屈そうに蛇行しながら大海へと進む。周りの島々にはフィンランド建築の別荘が立ち並ぶ。新緑の中に白と濃茶色に塗られた別荘はひときわ目を引く、別荘の前の海岸淵には、必ずサウナ小屋が併設されている。ホテルに着いたらサウナに入らなくちゃ・・・。

参加した43名はすっかり打ち解け旧知の間柄となり、全員元気で帰国しました。

写真提供 真駒内ロータリークラブ 佐藤元会長、中山会員

2006-07年度 地区委員会活動計画書

拡大委員会

委員長

小林 博 (札幌北RC)



1. 活動方針

ロータリーの量か質かの問題を踏まえながらも、質量ともに備わった拡大(地区内クラブの増加、73から74へ)が達成できれば誠に嬉しい限りである。地区内クラブ拡大の芽を発掘するべく心がけるとともに、拡大の芽を育てるための種子を蒔く努力を怠らないように心がけたいと思う。そのために地区内ロータリアンの格段の熱い思いにご期待申し上げたい。

オン・ツー・ソルトレー
クシティ委員会

委員長

遠藤 秀雄 (登別RC)



1. 活動方針

会員が参加し易い旅行日程を作成する。

2. 活動計画

被害を受けたニューオーリンズの会員のためにもソルトレークシティに大勢で参加し大会を盛り上げたい。

会員増強委員会

委員長

塚原 房樹 (札幌東RC)



1. 活動方針

ウィリアム・ボイド RI 会長の2006-07年度の会員増強計画は、各クラブ会員1名の純増です。

2. 活動計画

地区としては特に計画はありませんが、各クラブで会員増強、退会防止の特別プログラムやフォーラムを計画して、会員全員の力をあわせて目標を達成してください。

文献資料室

委員長

遠藤 一雄 (札幌東RC)



1. 活動方針

委員会の性格を十分に把握し、遺漏の無いよう、活動していきたい。

2. 活動計画

- ①地区内各クラブに、文献資料室が有するタイトルの案内を行い有効に活用できるようにします。
- ② RI で製作している書籍、VTR 等の購入を定期的に行い、各クラブに利用していただける様努力をする。
- ③地区大会会場でのブース出展、書籍販売。

④会合の予定

- 2006年 7月: 活動計画の打合せ
- 2006年 9月: 購入資料(書籍、VTR)のリストアップ
- 2006年 12月: 中期の検討会
- 2007年 4月: 購入資料(書籍、VTR)のリストアップ
- 2007年 6月: 次年度引継ぎ、反省会

クラブ奉仕委員会

委員長

堅田 進 (伊達RC)



1. 活動方針

本年度の地区ガバナーの目標に基づき、ロータリー奉仕の活性化を率先して行うことを目指したい。ロータリークラブの有用的かつ効率的な運用を行うこととしたい。

2. 活動計画

- (1) 地区リーダーシップ・プラン(DLP)、クラブリーダーシップ・プラン(CLP)
長いロータリーの歴史の上に育て上げられてきた従来の、クラブ組織ではなく、会員数減少におけるクラブ運営の中で、次なるステップのために、新しい推奨細則をいかにクラブに適合するかを各クラブで考えていただく。
- (2) 会員増強と退会防止に目標を定めたい
ロータリー永遠のテーマであるが、そこをもう一步進め、各クラブが増員を実現することに挑戦していただきたい。
- (3) ロータリーの広報について
ロータリークラブの活動、運動を広報する事により、ロータリーを理解していただける事をもう少し表に現われるようにしてみようではないかと思います。
- (4) ロータリー情報について
ロータリーは日々その時代を反映して変化しています。その変化を会員がその情報をより理解するようにしていきたい。

職業奉仕委員会

委員長

礪波 寿 (札幌南RC)



1. 活動方針

- 1. 本年度(2006~07)ウィリアム・ボイド RI 会長のテーマは、「LEAD THE WAY」 「率先しよう」であります。超我の奉仕で新世紀がスタートし、ロータリーの根幹ともいべき「職業奉仕」の理念に基づき、各自の職場で、地域社会で奉仕の実践を通し「率先しよう」の指針に応え、精力的に普及および実践に努める。

- 1. RI 第2510地区の丸山ガバナーの本年度目標としての「5項目」に従い、職業を通し理解を深め奉仕の源となる親睦を大切に、積極的な活動を奨励します。

2. 活動計画

- 1. 各クラブ会員に職業奉仕の意識が高まるよう、職業奉仕に関する「クラブ・フォーラム」・「勉強会」の実施を奨励する。
- 1. 職業奉仕に関する「クラブ卓話」での講演者の要請に応える。
- 1. 職業奉仕に関する資料・文献などの配布または紹介をする。

1. 地区内、各クラブ及び会員の具体的な職業奉仕活動例を紹介し、各クラブの職業奉仕活動が活発になるよう努力する。

社会奉仕委員会

委員長

小山 秀昭 (札幌手稲RC)



1. 活動方針

ロータリー活動の基本はロータリアン個人そして各クラブの活動が原点です。
各クラブがそれぞれの地域の足元を見直し、地域の要望を捉え「各クラブと会員個人自らが社会奉仕活動の行動する」のに必要な情報を提供する。

2. 活動計画

- 「意見交換会」の実施
各クラブから提出された「クラブの活動計画書」に基づき地区内を四つのグループに分けクラブ委員長を中心に「クラブの社会奉仕活動」の発表と意見交換を行う。
- 各クラブの活動計画書の取り纏めとその活動内容を分析しジャンル別に仕分けする。
- 地区「補助金委員会」を始め関連ある委員会の情報を適時お知らせする。

IC委員会

委員長

坂井 治 (千歳セントラルRC)



1. 活動方針

- インターネットを通じての情報交換と必要な情報を各クラブに効率的に伝達する。また、クラブIC化への協力をおこなう。
- 委員会メンバーの相互交流によるレベルアップを図る。オンライン（インターネット上）、オフライン（委員会などを開き直接会う）で情報提供を行うことによりお互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブヘフィードバックする。

2. 活動計画

- メールマガジンの配信
RI、RJW（ロータリージャパンウェブ）、ロータリーの友などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールを通じて配信する
- 地区ホームページの作成
地区から発信する情報および地区内各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とクラブ間の親睦の補助的役割を果たす
- インターネット活用の普及促進
インターネットの優位性や経済性はかなり浸透してきているものと考えられるので、今一歩進んだ有効利用について考える
- クラブホームページ作成のバックアップ
地区内25クラブ（2月末現在）
- 地区携帯HPの製作に向けて準備および実行
- クラブ携帯HPの普及にむけての啓蒙活動

新世代委員会

委員長

細川 好弘 (静内RC)



1. 活動方針

— ロータリー家族・新世代をよろしく —

全てのロータリアンと全てのロータリークラブに活動と精力をもたらす、奉仕の成果を生み出していただくためにも、率先してロータリアンがそのリーダーシップを着実に発揮されるようウィリアム・ボイドRI会長のコメントがごございます。
ロータリー家族・新世代と共に奉仕の楽しさと感動を共有できるようなプロジェクトを目指しています。
※地区新世代委員会の手引き小冊子を発行致しましたので、地区内全クラブでご活用下さい。

2. 活動計画

- ①新世代（0才～30才代）が世界に適用する指導力を培う機会に恵まれますように青少年の指導者育成プログラムの取組を奨励いたします。
・クラブ例会、グループとしての事業、IM等のプログラムにご検討下さい。
- ②「ロータリアンは青少年の模範」という標語を9月の「新世代のための月間」を中心にクラブ会報や広報資料に活用されるよう奨励いたします。
- ③世界平和を目指すロータリーに尊い学ぶ機会を与えてくれるインターアクト委員会（14才～18才）は高校生を中心に指導力の養成、思いやりと他人の力になる心構えを奨励実践する為の支援プログラムを担当しています。ジュニアロータリアンともみなされる青少年奉仕にご理解とご協力をお願いいたします。
- ④地域・国内・国際交流を通じて個々の能力開発に取り組むローターアクト委員会（18才～30才）は、青年男女の奉仕を通じての親睦と共に全世界の人々によりよい信頼関係を推進する為のプログラムを担当しています。
その任務遂行にご支援をお願いいたします。
- ⑤ロータリーの親善使節として留学生の交換プログラムに取り組む青少年交換委員会は審査・選考・管理と緊張感漲るお世話を担当しています。ホストファミリー、ホストクラブ、スポンサークラブ、学校関係者等々のご理解とご協力に感謝しながらの国際理解推進プログラムの成功に細心のご配慮をお願いいたします。
※未来への投資としての新世代プロジェクトに地区内各クラブ、又は各グループ毎の取組をお願いいたします。

ローターアクト委員会

委員長

五十嵐 桂一 (千歳RC)



1. 活動方針

国際ロータリーの活動の一環として、提唱クラブだけでなく、RI2510地区内全てのロータリアンにローターアクト活動を理解してもらうべく、地区ローターアクトまたは各ローターアクトクラブの活動をバックアップする。また、各提唱ロータリークラブのローターアクト委員会、会長、幹事に働きかけ、地域社会に奉仕する事業をローターアクト・ロータリー合同で行える様に推進する。上記の活動が会員増強につながる様に、ロータリー内に留まらない広報活動に務めます。

2. 活動計画

ローターアクト地区大会の実施と地区内ロータリアンの参加依頼
ローターアクト地区協議会の実施と適切な指導
地区大会への参加（展示スペース等）と協力
地区新世代委員会の行事への参加と協力
海外研修の実施
世界ローターアクト週間（3月13日を含む週）の周知と実際の活動の推進
地区ローターアクト代表との連携とバックアップ
各提唱クラブローターアクト委員長会議の実施（年3回を目標）

行事予定

- 7月8日 提唱クラブ ローターアクト委員長会議
第1回ローターアクト地区委員会
- 8月上旬 地区キャンプ
- 10月 地区協議会
- 11月 北海道交流会（第2500地区ホスト）
- 1月 地区温泉交流会
- 2月24日、25日
全国ローターアクト研修会
（ホスト第2610地区 石川・富山）
- 6月上旬 地区大会（ホスト 赤平 RAC）

インターアクト委員会

委員長

戸部 アナマリア（札幌はまなすRC）



1. 活動方針

インターアクト委員会としては地区の会員の皆様、スポンサーロータリークラブ、学校関係者や顧問の先生方、新世代委員会及びローターアクト、青少年交換委員会、そしてガバナーのご理解、ご協力を戴きながら、その目的である奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えることを目標に活動を行ってまいります。
また、現在世界のロータリアンが減少傾向にある中、インターアクターがローターアクターに、そして将来はロータリアンに育てあげることができるようにお役に立てればと考えております。
皆様の心強いバックアップをお願い致します。

2. 活動計画

本年度は前年度とあまり変わらないプログラムで活動する考えであります。

1. 海外研修旅行

（インターアクトの目標の一つである国際理解と世界平和）
前年同様韓国を訪問し、今まで培われてきた友好関係をより深く、お互いにより良い世界をつくる為の交流の場にしたいと考えています。

2. 世界インターアクト週間（11月5日を含む1週間）

インターアクトクラブ、ローターアクトクラブとスポンサーロータリークラブ等が協力し合って共同でできる活動や奉仕プロジェクトを企画し、交流を深める会合を企画することを考えています。

3. 新世代委員会と共にインターアクトクラブの顧問教師や協力者との会合を持つことにより、より一層の理解と連携を強めることにしたいと考えています。

4. インターアクト地区年次大会開催を企画します。

以上を計画しておりますが、その日時及び内容等につきましては後日ご連絡致します。

青少年交換委員会

委員長

宮崎 善昭（札幌西RC）



1. 活動方針

ロータリアンの子弟が参加できる唯一の国際プログラムで、高校生が外国に留学することにより、国際見聞を広め、生活経験を通して人間同士のコミュニケーションや善意を知り、人類の共生や平和について考える機会とします。

1. 派遣学生の募集・選考、オリエンテーションを円滑に実施する。
2. 受入学生のオリエンテーション、留学指導を効果的に実施する。
3. 受入クラブとの連絡・調整を密にし、留学生在が安心して日本の生活ができ馴染めるよう配慮する。
4. 帰国学生（ROTEX）活動の推進。

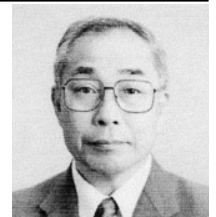
2. 活動計画

- ①長期派遣、受入6名（オーストラリア2名、アメリカ2名、カナダ1名、フィンランド1名予定）
- ②歓迎会、送別会の実施
- ③受入留学生レクリエーションプログラムの実施
- ④ROTEX、インターアクターとの交流プログラムの実施

国際奉仕委員会

委員長

橋本 信夫（札幌西RC）



1. 活動方針

地区国際奉仕委員会は地区における国際関連事業の窓口であって、各クラブにおける海外親善プログラムや発展途上国を対象にした人道的支援プログラムを積極的且つ効果的に推進するよう努めている。次年度は特に国際奉仕関連事業のPRと各クラブによる国際関連の事業計画支援のために「国際奉仕委員会だより」の発行と情報ネットワークの整備を行い、各クラブや会員と地区との緊密な情報交換を図る。

2. 活動計画

第1 現在世界社会奉仕委員会（WCS）が精力的に行っているアジア諸国に向けた人道的支援プログラムを効果的にバックアップする。これまでに各クラブからさまざまなWCS関連の案件が寄せられているが、この詳細は斎藤 WCS 委員長が報告する。

第2 韓国の姉妹地区 RI3700地区と芸術文化、教育、スポーツ、趣味、観光、産業などについて多面的な情報交換と親善友好プログラムを企画し、両地区ロータリアンの積極的な交流を図る。RI3700地区との交流事業は矢橋国際友好委員長が報告する。

第3 以上の国際奉仕活動を効果的に推進するために、当委員会では、今年度から会報「国際奉仕委員会だより」を定期発行する。この会報にRI、地区、クラブ、会員の国際関連記事を載せ、長期的なPR活動を通じて国際奉仕活動（途上国への人道的支援、国際友好・親善活動など）に対する各クラブ・会員の理解と参加を促すようにする。

元来外交的プログラムは大変複雑なため、相手地区やクラブについて十分事前調査をした上で慎重に対応する必要がある。また実施に当たっては莫大なエネルギーを要すると同時に思いがけないリスクを伴う場合もある。このため相手国と地区・クラブの双方が実施プログラムについての情報と経験を蓄え、豊かな相互理解と信頼関係を培いながら実施することになる。またこの実現には少なくとも数年を見越した明確な活動方針、緻密な実施計画と寛容な奉仕精神が不可欠となる。

世界社会奉仕委員会

委員長

齋藤 修弥 (室蘭RC)



1. 活動方針

自分たちの地域社会にニーズがあるのに、なぜ他国の人々を援助するのでしょうか。

それは、世界社会奉仕はプロジェクト実施地域だけでなく、はるかに広く恩恵をもたらすからです。そして何よりも事業を通じて海外のロータリアンと強い絆を結ぶことが出来ます。

この目的に向け一層精力的に世界社会奉仕活動を展開していきます。

2. 活動計画

- 1) 世界社会奉仕活動 (WCS) についての理解と協力を高めるため、積極的に啓蒙活動を展開します。
- 2) 具体的な広報活動として当委員会のホームページを日本語と英語で立ち上げます。
- 3) 国際奉仕委員会、国際友好委員会との連携を強化し、共同事業の拡大を図ります。
- 4) 昨年に引続き、識字率の向上、ウォータープロジェクト事業の拡大に努力します。

国際友好委員会

委員長

矢橋 温郎 (札幌西RC)



1. 活動方針

従来の地区大会の交流ばかりでなく、何らかの事業を計画したいと思っている。

ローターアクト、インターアクト、青少年交換、GSE等、検討はしているがなかなか実現に到っていないので長期的に見て何らかの方針を考えたい。

2. 活動計画

当委員会は趣味の会も併せ持っているもので、差当たり囲碁、ゴルフ等で交流を持ちたいと思っている。

今年度はRI2510地区の大会前日にゴルフ大会が予定されていたので、好都合かと思っただけが変更になったので考え直さなければならなかった。

米山記念奨学委員会

委員長

大石 春雄 (札幌はまなすRC)



1. 活動方針

米山記念奨学会の指命は、「将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事」と掲げられております。これをふまえて、多くの会員の方々に米山奨学事業について、理解を深めていただき、さらには奨学生に援助の手を差し伸べていただけるよう、卓話や交流の機会を増やし、米山奨学事業の意義と感動を理解いただけるよう積極的な活動をしていきたい。

2. 活動計画

1. 委員会活動がスムーズに行えるよう、年3回程度委員会を開催する。

2. 10月の米山月間には、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、奨学生にスピーチをしてもらう。併せてより多くの奨学生を援助できるように寄付のお願いをする。
3. 地区大会はもとより、他団体及び他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
4. 地区内奨学生、及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際親善の一助としたい。

米山学友委員会

委員長

米谷 龍三 (札幌東RC)



1. 活動方針

米山学友委員会はいよいよ5年目を迎えました。今年度の活動方針は、第1に限られた予算の中でいかに効率的に活用し、運営していくかを学友会員と共に検討し、楽しい交流会を継続していく事。第2に、学友会の主人公である学友自身に対し、学友会そのものの認識を深め、ロータリアンとのつながりを強化する。具体的には、学友会員を積極的に、各クラブで行われるイベントに参加させ、学友会の啓蒙活動につなげる。

2. 活動計画

- (1) 米山学友会 (北海道) の名簿の補填、追加
 - (2) 米山学友会役員と米山学友委員との合同会議の開催
 - (3) 毎年行われる地区大会への参加
 - (4) 各クラブで実施される米山月間に於けるスピーチへの参加
 - (5) 米山奨学委員会主催の行事への参加協力
 - (イ) 米山奨学生歓送会の参加
 - (ロ) 各国お国自慢料理作り及び国際交流会への参加
 - (6) 米山学友会総会・懇親会の開催
 - (7) 米山学友会親睦家族会の開催
 - (8) 機関紙「米山だより」の発行
- 以上、8つの項目を実践していく予定です。

ロータリー財団委員会

委員長

遠藤 正之 (札幌南RC)



1. 活動方針

「ロータリー財団およびそのプログラムに対する理解とその活動に協力すること」— 毎年あなたも100ドルを —

ここ数年来社会状況の悪化、諸条件の悪化により会員数の減少がみられ、又それに基因してか財団に対する理解も若干希薄になってきたようです。

我々ロータリアンとして一番身近なロータリーに対する奉仕活動の一つとして財団に対しての協力です。丸山ガバナーの地区目標にも「毎年あなたも100ドルを」と財団に対する協力を呼びかけておられます。財団委員会は今年も各小委員会と密な連絡をとり乍ら、財団の仕組みと財団の目的の理解をいただき乍ら、財団に関する諸活動寄付に一層の協力をお願いするつもりです。本年度も年度当初から、各クラブの会長・幹事、財団関係の方の協力得て「毎年あなたも100ドルを」の目標達成を願いたい。又、100%財団の友クラブの認証を得るようにしていただきたい。

財団委員会としてのお願い

1. 財団委員会 (小委員会への積極的な協力)

2. 財団プログラムを支えている諸寄付の協力
 - ・年次寄付（毎年あなたも100ドルを）
 - ・恒久基金、使途指定、大口寄付等への協力
 - ・ロータリーカードへの協力
3. 2006-07年度の年次寄付、地区目標は30万ドルです。

国際親善奨学金委員会



委員長

瀧川 哲夫（札幌手稲RC）

1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を促進するために1947年にその事業を開始し、第2回の日本からの派遣奨学生に緒方貞子さんがいらっしゃいます。留学期間中、ロータリーの国際親善奨学生は、ロータリークラブや地区、大学、公共団体、その他の会合に出席して、ホスト国の人々に対する親善使節としての役割をはたすことが期待されています。留学を終えて帰国した後、奨学生は、自分を送り出してくれた地元のロータリアンを始め、自国の人たちと留学中の体験について討議し、報告するものと期待されています。

2. 活動計画

2006年7月	07-08年度奨学生 第1回オリエンテーション 第1回委員会（活動計画承認）
8～9月	07-08年度奨学生 英文申請書作成指導、 ロータリー財団へ申請書送付
10月	07-08年度奨学生 第2回オリエンテーション 第2回委員会（08-09年度奨学生募集要項案の決定）
12月	第3回委員会（募集要項・ポスター作成・発送）
2007年3月	07-08年度奨学生 第3回（最終）オリエンテーション（1泊の合宿予定） 第4回委員会
6月	08-09年度奨学生候補者最終面接選考 07-08年度奨学生 壮行会 第5回委員会

2008-09年度奨学生候補者選考日程案

募集要項・ポスター印刷完成・送付作業	2006年12月～1月
募集開始	2007年2月
各クラブへの応募申請書提出締め切り	4月上旬
各クラブから奨学金委員会への提出締め切り	4月末
書類審査	5月中旬
面接選考	6月上旬
合格発表	6月中旬

GSE（研究グループ交換） 委員会

委員長

岡崎 芳明（小樽南RC）



1. 活動方針

1. 地区内ロータリー会員に対して、研究グループ交換事業の理解促進活動を積極的に行う。
2. 研究グループ交換事業の受け入れ、派遣に関わる費用の見直しを図り、研究グループ交換事業がより充実した気軽に実施出来る環境作りを行う。

3. 地区ロータリー財団事業を地区内ロータリー会員に理解していただけるよう、地区ロータリー財団事業に対して協力をしていく。
4. 更に魅力あるGSEプログラムに改良するために、プログラム内容の充実を検討する。

2. 活動計画

1. 2007年～2008年度の受け入れ派遣地区であるマレーシア RI3300地区との派遣受け入れに関する国際渉外活動を進めていく。
2. 毎月1回委員会を開催し、次々年度の受け入れ派遣の準備に併せGSEプログラムの勉強を行う。
ア、RI2510地区内のクラブに対してGSEプログラムの理解を深めて頂く為、積極的に卓話にのぞめる体制を整える。
イ、特別重点GSEプログラム等を視野に入れたGSE交換プログラムを検討する。
3. 2007年度から2008年度 RI3300地区への派遣チームリーダーと派遣メンバーを募集、決定し、派遣研修を行う。（次々年度に受け入れ派遣が有る為、ロータリー財団委員長や酒井ガバナーエレクトと相談をしながら、函館地区を視野に入れ募集の展開を検討したい）
4. 2007年～2008年地区大会の時期に併せて受け入れる、RI3300地区よりの派遣メンバーの受け入れグループ及び受け入れ担当クラブを決める。
5. 長期に渡り使用していただけるGSEホームページの構築。

財団学友委員会

委員長

桃井 康夫（札幌清田RC）



1. 活動方針

- I. 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- II. 財団学友のロータリー活動への参加促進。
- III. 財団学友に対する、ロータリークラブ側の理解推進。
- IV. 財団学友会の広報。啓蒙活動の推進。

2. 活動計画

1. 委員会の開催。
※年間4回の委員会を開催。活動計画の検討と確認を行う。
第1回目は、平成18年7月14日とする。
2. 第3回帰国財団学友報告会及び学友会総会・懇親会の開催。
開催日時：平成18年9月2日（土曜日）予定
※海外に留学した財団親善奨学生とGSE団員の体験報告と帰国後の感想と今後の活動について発表する会。
3. 財団学友のクラブ例会での卓話機会の増進。
※クラブの要望に応じて学友が卓話を行う機会を増進し、ロータリー財団の事業成果への理解を深めるように交流を図る。
4. 財団学友会賛助会員の賛助金拠出を推進。
※財団学友の存在意義を高め、学友を活用すると共に賛助会員としてご支援を御願います。学友会の活動費として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めている。
5. 学友会活動状況を、報告している学友ニューズレター発行の支援。
※学友会設立以来、毎年発行している学友ニューズレターは、学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに貢献しています。
6. 財団学友の地区大会への参加促進。
※スポンサークラブからの積極的な働きかけをお願いする事が、重要です。多くの学友が参加して、国際ロータリーへの理解を深めてほしいです。

補助金委員会



委員長

朝倉 正人 (札幌東RC)

1. 活動方針

補助金委員会はロータリークラブが人道的補助金を申請した場合、活動内容等の審査をし、委員会を開催する。そしてガバナー及び財団委員長出席のもとで決定し、最終報告を提出するに至るまで指導及び援助するのが主な役割です。

各クラブにおいて人道的プログラムを積極的に遂行し、地域に密着した社会奉仕に利用して戴き、社会奉仕委員会、世界社会奉仕委員会と連動することもよろしいと思います。審査には諸条件を満たすことが大事になりますので宜しくお願い致します。

2. 活動計画

補助金を各クラブで有効に利用して戴きたい。地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントの活動に援助することが役割でございます。各クラブでは職業奉仕、社会奉仕活動をしてはいますが、その中でクラブ独自の奉仕活動、地域活動に対して、又会員自ら汗を流す活動に補助金を支出するものであります。補助金の審査は、3年前のロータリー財団の寄付の状況、クラブの自主申告の実績表を参考にし、又活動内容を厳正に審査し判断して参ります。予算の関係で満足な補助金は支出できないこともあり、そして内容、予算についてご遠慮して戴く場合、又減額のお願が多々あると思われますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

補助金監督委員会



委員長

八木 昌興 (札幌西RC)

1. 活動方針

補助金が公正に使用されているか監督する。

2. 活動計画

- ・ロータリアンの積極的な、かつ直接的な参加があるかどうか。
- ・地域社会の参与ならびにプロジェクトが地域社会のものであるという証しがあるか。
- ・ロータリアンとその親族、クラブと地区と他のロータリー関係の組織とRIの職員に補助金が渡っていないかどうか。

クラブ活動紹介

一日に2つの奉仕活動 2006年7月2日(日)

第2510地区 留萌ロータリークラブ
広報委員会 委員長 越野 俊興

午前7時 社会奉仕委員会担当



平成18年度 留萌市海水浴場クリーン作戦
各種ボランティア団体や市内の中・高学生も参加のもと、
ゴミ・空カン拾い等の清掃活動をした。

午前9時 新世代委員会担当



2006-2007年度 留萌ロータリークラブ会長杯
第1回のもいジュニア水泳大会
留萌市温泉プールふるも、で市内はもとより旭川市や東川町から8才~12才の少年少女が148人の参加のもと熱戦が繰り広げられた。

ガバナー公式訪問

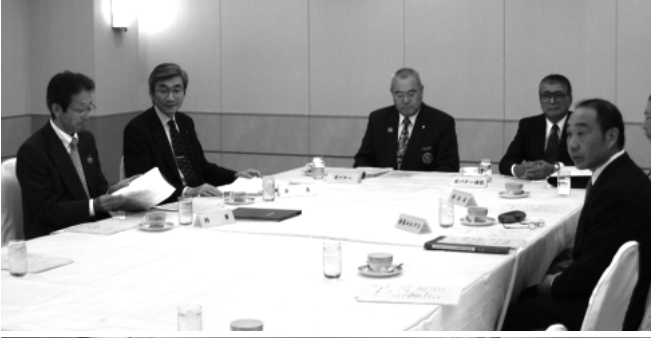
北広島RC公式訪問 (7月3日)



栗山RC公式訪問 (7月4日)



新札幌RC公式訪問 (7月5日)



江別RC公式訪問 (7月6日)



小樽南RC公式訪問 (7月7日)



地区大会のご案内

10月14日 (土) [第1日]

札幌市民会館・ホテルライフオート札幌

【会長・幹事会】

●札幌市民会館

- 8:40 会長・幹事会受付開始
- 9:10 会長・幹事会点鐘
RI 会長代理ご夫妻、ご来賓、役員紹介
開会の挨拶
RI 会長代理挨拶
大会決議案上程審議・承認
2005～2006年度決算報告・監査報告
大会運営委員会報告・各委員会報告
- 10:00 点鐘・閉会

【本会議】

●札幌市民会館

- 9:10 本会議受付開始
- 10:20 着席
- 10:30 本会議点鐘
来賓紹介・ガバナー挨拶
RI 会長代理挨拶
北海道知事・札幌市長挨拶
- 13:00 表彰
- 13:30 記念講演「夢をもたらず氷の世界」
北海道大学教授 本堂 武夫氏
- 15:00 本会議
- 16:00 参加クラブ・特別参加者紹介
- 17:10 点鐘・閉会
※ホテルライフオート札幌へ移動

【RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会並びに懇親会】 ●ホテルライフオート札幌

- 18:00 開会
挨拶・乾杯
アトラクション
- 20:00 閉会

10月15日 (日) [第2日]

ホテルライフオート札幌

【本会議】

●ホテルライフオート札幌

- 8:30 受付開始
- 9:00 点鐘
財団フォーラム
- 10:30 休憩
- 10:50 点鐘
地区指導者育成セミナー
- 12:20 点鐘・閉会

登録料

会 員	13,000円
会員家族	8,000円
新 世 代	5,000円
ゴ ル フ	5,000円
囲 碁	5,000円
RI 会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会 並びに 懇親会	5,000円

9/15 (金) 記念ゴルフ大会

小樽カントリー倶楽部

10/9 (月) 記念囲碁大会

アスティ45・7F 日本棋院北海道本部

ごあいさつ



2006～2007年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー

丸山 淳士



2006～2007年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会実行委員長

金井 義司
(札幌真駒内 RC)

一人一人の力は小さくても、たくさんの力が一緒になると、とてつもない大きな力になります。
友情の広がり、世界の平和への大きな力になります。
100年の礎に支えられ、今こそ実践に動き出すときです。
地区大会は、たくさんの出会いと友情を深める素晴らしい機会です。
奉仕の機会を見つけ出すヒントも得られます。
小さな活動の第一歩を踏みだそうではありませんか。
「率先しよう・・・」が今年のテーマです。
ロータリーの大輪の花が世界中に広がることを願って、まずは皆さん一人一人が率先しましょう！

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの出席報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。
(FAX、メールもしくは電話可)

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。
原稿締切り日は毎月10日です。(メールでも可)

2006年8月 国際ロータリー為替レート 米貨1ドル当たり=114円

【例会曜日・例会時間・例会場の変更について】

江別 RC :

8月3日(木)の例会は移動夜間例会に変更 18:30~
場所: レストラン マキシドルパ

長沼 RC :

8月14日(月) 休会 (定款第5条第1節により)

岩見沢東 RC :

8月15日(火) 休会 (定款第5条第1節により)

8月29日(火)の例会は下記に変更

8月25日(金) 3クラブ合同納涼夜間例会
18:00~

会場: 三井グリーンランドホテルサンプラザ

クラブ事務所のお盆休み: 8月12日(土)~16日(水)
ご用件のある方は会長・幹事までお願い致します。

当別 RC :

8月15日(火) 休会 (定款第5条第1節により)

室蘭東 RC :

8月16日(水) 休会 (定款第5条第1節により)

8月20日(日) 家族同伴野外例会 (洞爺湖)

8月30日(水) 振替休会

白老 RC :

8月8日(火)の例会を下記に変更します。

8月9日(水) 移動夜間例会

「仙台西ロータリークラブ歓迎会」

19:00~

場所: グランドホテルニュー王子(苫小牧市)

8月15日(火) 休会 (定款第5条第1節により)

8月22日(火) 移動夜間例会

「納涼会」 18:00~

場所: 川田会員宅お庭 (白老町栄町)

室蘭北 RC :

8月8日(火) 夜間例会

「ガバナー公式訪問」 18:00~

場所: ホテルサンルート室蘭

8月15日(火) 休会 (定款第5条第1節により)

8月29日(火) 夜間例会 18:30~

小樽 RC :

8月15日(火) 休会 (定款第5条第1節により)

苫小牧 RC :

8月11日(金) 休会 (定款第5条第1節により)

8月18日(金) 移動夜間例会

「会員・家族の納涼の夕べ」 18:00~

会場: プラザホテルニュー王子/
プラウビアガーデン

室蘭 RC :

8月17日(木) 休会 (定款第5条第1節により)

・砂川 RC 事務所の FAX 番号について

ガバナー月信7月号で FAX 番号 0125-54-2028 とお知らせ致しましたが、0125-52-4572 に変更をお願いします。

・例会場変更について

小樽銭函 RC :

当クラブ例会場として「にしん場」を使用しておりましたが、都合により下記の例会場に変更します。

新例会場: 和風レストラン銭函大山

(小樽市銭函3丁目4番 TEL 0134-62-4274)

・地区組織図の変更について

ガバナー月信7月号16頁に掲載しました地区組織図について、地区ローターアクト委員会委員として、田中隆志委員(赤平 RC)、武井優委員(岩内 RC)が選任されておりますので、組織図をご訂正下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

新入会員のご紹介 (敬称略)

札幌北RC 賀来 亨
平成18年7月3日入会札幌北RC 中村 恵子
平成18年7月3日入会札幌はまなすRC 柳井 康晴
平成18年7月4日入会江別西RC 徳田 康幸
平成18年7月4日入会

文庫通信 (226号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆広報について☆

- | | |
|--|-----------------------|
| ◎「行動広報」 D.2650 2005 22p | [申込先：ロータリー文庫] |
| ◎「超我の奉仕 (広報について)」 D.2630 2005 3p | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| ◎「動き出した広報」 武部 宏 2005 2p (D.2650 月信) | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| ◎「広報と宣伝・広告のちがい」
大久保 昇 2005 3p (D.2650 月信) | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| ◎「『広報・ITに関するアンケート調査』の集計結果について」
岡本 比呂志 2006 2p (D.2570 月信) | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| ◎「広報の立場から」 西村 二郎 1982 1p | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| ◎「ロータリーに於ける広報とは何か」
前原 勝樹 1985 2p | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| ◎「ロータリーを『わかる』ために一巻き込み、渦を起こすのが広報」
森 三郎 1995 16p | [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

地区カレンダー (8月・9月)

8月 会員増強月間			
1(火)	公式訪問(小樽 RC、蘭越 RC)	17(木)	
2(水)	公式訪問(倶知安 RC、余市 RC)	18(金)	
3(木)	公式訪問(岩内 RC、小樽銭函 RC)	19(土)	
4(金)	公式訪問(札幌大通公園 RC)	20(日)	
5(土)		21(月)	公式訪問(函館亀田 RC)
6(日)	ロータリー財団地域セミナー(横浜)	22(火)	公式訪問(江差 RC、七飯 RC)
7(月)	ロータリー財団ゾーン1ワークショップ(横浜)	23(水)	公式訪問(函館北 RC)
8(火)	公式訪問(室蘭北 RC)	24(木)	公式訪問(上磯 RC)
9(水)	公式訪問(室蘭東 RC、登別 RC)	25(金)	公式訪問(函館五稜郭 RC、松前 RC)
10(木)	公式訪問(室蘭 RC、伊達 RC)	26(土)	
11(金)	公式訪問(洞爺湖 RC)	27(日)	
12(土)		28(月)	
13(日)		29(火)	公式訪問(白老 RC)
14(月)		30(水)	米山記念奨学会、理事会・評議員会(東京)
15(火)		31(木)	
16(水)			

9月 新世代のための月間			
1(金)	~2(土) 地区親睦野球大会(新ひだか)	17(日)	~18(月) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京)
2(土)		18(月)	敬老の日
3(日)		19(火)	公式訪問(函館東 RC、函館セントラル RC)
4(月)	公式訪問(静内 RC)	20(水)	公式訪問(長万部 RC、森 RC)
5(火)	公式訪問(様似 RC、浦河 RC)	21(木)	公式訪問(函館 RC)
6(水)	公式訪問(三石 RC)	22(金)	
7(木)	公式訪問(えりも RC)	23(土)	秋分の日
8(金)		24(日)	
9(土)		25(月)	公式訪問(長沼 RC)
10(日)		26(火)	公式訪問(札幌清田 RC、札幌セントラル RC)
11(月)		27(水)	妹背牛 RC40周年記念式典例会
12(火)	公式訪問(千歳セントラル RC)	28(木)	公式訪問(由仁 RC)
13(水)	公式訪問(恵庭 RC)	29(金)	公式訪問(苫小牧 RC)
14(木)	公式訪問(千歳 RC、苫小牧東 RC)	30(土)	第12グループ IM(白老)
15(金)	地区大会記念ゴルフ大会(小樽)		
16(土)	地区 IC 委員会(登別)		



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2006-2007 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510